

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている →まだ開設間もなく、経験の浅い職員が多い為理念を基にした支援でなく職員職員の思いで方向が定まらないことが多い | 敬親庵として、昌明福祉会の理念をさらにグループホームとして具現化する支援イメージを全職員と共有する | 事業所理念は事業所が大切にしている価値観や考え方を職員や家族、地域に周知し、事業所が目指しているものを共有して目的を実現するための手立てとなるものであることから上記関係者にアンケート実施、一年の介護目標を立てる | 1ヶ月 |
| 2 | | 運営推進会議出席者が同じメンバー、身内ばかりである | 家族や地域の住民の方の参加を促すような内容の運営推進会議を目指す | 家族参加を促すために定期連絡に出席の伺いをつける またホームの様子や生活支援の要望を伺う場とするためにご利用者様も参加いただく また議事録をご家族様に周知する為毎回発送する | 6ヶ月 |
| 3 | | ホーム内の空間が閉鎖的である 特に施設に関して | ホーム内だけでも風通しのいい空間にしたい、特に1階はせっかく平面で2ユニットあるのだからオートロックを開放し大きなユニットとして一体化して運営したい | 職員に聞き取り調査をし意向や考え方を掬い取るユニット会議でなくこのテーマで話し合いの場を持ちディスカッションする | 12ヶ月 |
| 4 | | 看取りケアの経験が浅く不安に思っている職員が多い | 看取りケアはグループホームが終の家になるための必須のピースだと考え職員が看取りに関して理解を持ち支援に積極的になる | 看取りに関して積極的に看取りのイメージを職員と共有しておく 映画や書籍など取り掛かりやすい教材にて看取りに関するイメージを作りつつ具体的なケアに関する講習会を実施する | 6ヶ月 |
| 5 | | 避難訓練や災害時訓練がなかなか実施できない | 定型化した訓練は実施できているが具体的に何が職員や利用者様、ご家族様が不安か掬いより実践的な訓練を実施する | まずは消防署立会いの下この施設ではどのような避難が考えられるのかプロに質問する形式で職員の不安な面を掘り起こす機会を作る また備蓄品の管理を職員に委譲し主体的にユニットごとで備蓄をできるよう権限委譲する | 3ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。